

大切な情報

どう伝えますか？

安心・安全・快適な街づくりに

行政Webテロップ放送

地震



豪雨



洪水





地方の人口維持や増加を図るには？



定住する為の生活環境を整えることが最良

重要
課題

災害時等の危機管理対策

⇒ご高齢の方にもやさしい提供手段

この問題解決のために・・・

「行政Webテロップ放送」を
ご提案します！

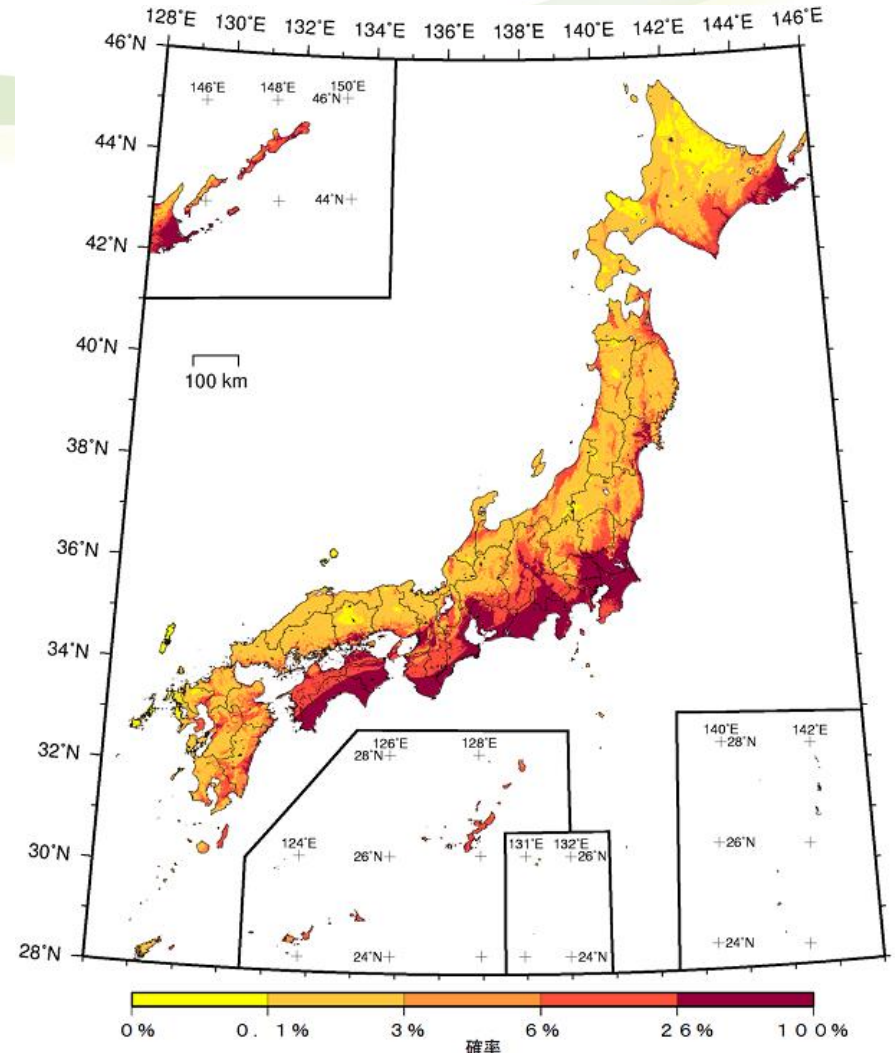




今後の地震の可能性

今後30年以内に**震度6弱以上**の地震
が来る確率が50%以上の都道府県

○千葉県(千葉市)	85%
○神奈川県(横浜市)	81%
○茨城県(水戸市)	81%
○高知県(高知市)	74%
○徳島県(徳島市)	72%
○静岡県(静岡市)	69%
○三重県(津市)	63%
○香川県(高松市)	62%
○奈良県(奈良市)	61%
○和歌山県(和歌山市)	58%
○大阪府(大阪市)	56%
○大分県(大分市)	56%
○埼玉県(さいたま市)	55%



(モデル計算条件により確率ゼロのメッシュは白色表示)

確率論的地震動予測地図：確率の分布

今後30年間に 震度6弱以上 の揺れに見舞われる確率
(平均ケース・全地震)

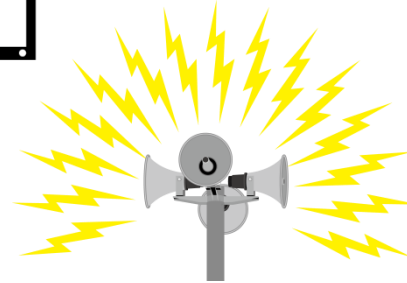


行政Webテロップ放送の利用法

地震・台風・集中豪雨・竜巻などによる自然災害が起きたとき・・・

一次災害情報

- ・NHK放送
- ・Jアラート
- ・エリアメール など



二次災害情報

行政が発信しなくてはならない情報

- ・避難場所
- ・飲み水の配布場所
- ・停電情報
- ・安否情報 など

災害発生後に必要な情報は
どう発信すればいいの？



正確且つ迅速に！

一方向でだれにでも伝えられることが重要！



行政Webテロップ放送を導入するメリット

①設備費が掛からずメンテナンスの要らないシステム

→設備の陳腐化や更新の心配なし

②全国の方が閲覧可能

→各市町村の存在やその街づくりを全国に発信できる

普段から各市町村の必要情報（行政からのお知らせ等）を流し、住民に見る習慣をつけてもらうことが大切

いざというときの情報を伝えやすい環境



全国・近隣市町村の情報伝達方法

➤ 回覧板

- メリット ①日本の文化であり国民には定着している
②紙ベースであり記録が残る

デメリット ①時間と手間がかかる(途中で情報が古くなる可能性がある)

➤ 防災行政無線

- メリット ①音声であり即応性がある
※災害発生・火災発生・避難勧告・避難所開設・救援物資・断水・停電時など
②国(Jアラート)、県との連動による放送が可能

デメリット ①音声の為、環境により聞こえなかった時は情報が伝達されない
※再生電話番号設置の有無などにより放送後の情報伝達状況は異なる



全国・近隣市町村の情報伝達方法

➤ CATV

メリット ①難視聴や多チャンネル・インターネット等と共同利用

デメリット ①CATV加入者にしか連絡できない

②膨大な設備費・維持費がかかる

③放送にはCATV設備とは別に放送機器設備とスタッフが必要

④停電への備え(無停電装置)の有無により、場合によっては影響を受ける

⑤CATVのケーブルが断線するとシステムは全てダウンする

➤ FM放送

メリット ①即応性がある

②無線系なので有線伝送路が損傷しても送受信可能

デメリット ①平常時の放送が困難(音楽が主流)

②アナウンサーやスタッフの24時間対応が困難

③設置費用や維持費がかかる



行政Webテロップ放送

メリット

- ①設備・更新不要(設備の陳腐化なし)
- ②システムはバージョンアップにより向上(費用は発生せず)
- ③検索は音声検索で一回のみ、その後はホーム画面に追加(アプリ不要)
- ④通常は電子回覧板・災害時は災害生活情報放送に素早く変更
住民は平常時通り閲覧可能
- ⑤高齢者にやさしい目でわかるホームページ(テキスト中心ではなくビジュアル中心)
- ⑥閲覧はスマートフォン・タブレット・テレビ・PC
- ⑦24時間放送、目次付きなので見たい情報を選択できる
- ⑧目次なしの放送も同時放送しデジタルサイネージとして利用可能
- ⑨Web放送なので全国はもとより全世界に放送できる
いつでも各市町村関係者(親戚、子供)がその地域の現状を知る事ができる
- ⑩画面が任意時間で順次放送されるため高齢者の情報収集にも最適
- ⑪弊社のWebサーバーはNTTコムのクラウドを使用のため安全
- ⑫停電や有線施設の損傷が起きた場合は無線系(ドコモ)で放送
- ⑬災害後の一般電話制限時は災害連絡専用回線で連絡可能(災害有線電話設置)
- ⑭CMIにより収益確保が可能(当サービスの費用分も捻出可能)
- ⑮選挙開票速報の実施も可能

デメリット

- ①災害一次放送には対応できない(震度・火災発生など)
- ②災害発生後は対応まで最短30分を要する

※AM9:00~PM6:00は瞬時に対応、台風など事前にわかる情報は24時間対応



災害情報伝達は大きく分けて2つ

一次放送(突然の予期できないお知らせなど)

- 地震発生時の震度情報等…テレビ・ラジオ等
- 台風情報…テレビ・ラジオ等
- ミサイル情報…Jアラート・エリアメール
- 火災発生情報…広域からの情報提供

二次放送(災害発生後の対応お知らせなど)

- 現在の被害状況の情報
- 発生した災害による災害生活情報

例)ごみの搬出、拠点避難所開設、生活必需品の支給、保険料の免除制度、
仮設住宅の応募、り災証明受付 等



二次放送による生活情報関連項目



避難指示・避難勧告・避難所・気象情報・給水・炊き出し・仮設浴場・
ゴミ収集・スーパー・コンビニ・道路・電気・都市ガス・LPガス・バス・粗大ゴミ
収集・薬局・電話・水道・洗濯・病院・休校情報・ボランティア・保育所・幼稚園・
銀行・鉄道・ラジオ周波数・テレビチャンネル・空港・宅配便・エコノミークラス
症候群予防方法・コインランドリー

・心のケア・住宅資金貸付窓口・通帳を無くしたら・携帯電話・仮設トイレ・信用金庫・携帯充電器・
託児所・巡回診療・携帯コンロ貸出・診療所・ガソリンスタンド・歯科医院・旅館・熱中症予防・
おむつ・生命保険・他局生活情報放送時間・運転免許証更新・郵便局・防犯呼びかけ・生活資金
貸付窓口・人工透析・災害伝言ダイヤル・国民年金保険料・在宅酸素療法患者用酸素ボンベ・
介護サービス・り災証明書発行窓口・JAF対応窓口・出産対応・停電復旧時の注意・巡回健康
相談・ATM・衣類配給場所・寝具・中小企業金融相談窓口・損害保険・ペット・法律相談・ホテル・
温泉開放・障害者支援・住宅消毒方法・悪徳商法注意・雇用相談・農業相談

… 100項目以上



「行政Webテロップ放送」の費用対策効果

- Web回線があれば**設備費は一切不要**
- **低料金**で町の安心・安全の情報提供及び情報発信が可能
- 全ての作業及び費用は人件費にして**約1人分**
(テロップ制作・テロップ放送・24時間体制)
- テロップ画像の**二次使用が可能**(SNS・広報誌・配布物への使用)
- 新たなシステムは**導入不要**
- 情報を取得するための機器は**一般家庭で使っているものでOK**



各市町村から弊社への入稿について

各市町村が編集可能なWebページにテキストを入力していただき、
弊社がそれを原稿データとして取得

行政

原稿データ



NVS



行政Webテロップ放送のために**特別な連絡網は必要なし！**
スピーディなテロップ放送を実施！
※メール配信サービスからの情報もテロップ放送に反映可能



NVSの軌跡 ～地域情報を発信し続けて45年～

○テロップ放送の実績

- ・昭和48年 茂木町でCATV局を開局、テロップ放送がスタート
- ・昭和62年 茂木町内普及率98%達成
- ・昭和63年 全国の他CATV局へテロップ放送提供開始
- ・平成20年 全国のテロップ放送視聴世帯数が300万世帯を達成

○災害放送の実績

- ・阪神・淡路大震災 ・東日本大震災 ・平成28年熊本地震
- 上記災害発生後に地元CATV局に災害生活情報を提供

○震災対策

- ・平成21年 社屋簡易震災対策実施(東日本大震災時(茂木町:震度6弱)に問題なし)
- ・平成23年 耐震棟を設置:送信設備完備、通信回線を二重設置(有線・無線)
- ・平成24年 非常発電機設置、二週間連続稼働可能
- ・平成26年 サーバーを二重設置:NTTコム・NTTPCコムのクラウド
- ・その他 パンデミック対策等完了

時代と環境に沿い続ける
行政Webテロップ放送を
これからの街づくりにお役立てください。

災害に備える設備、人材、
そして**長年の経験でバックアップ**します。

